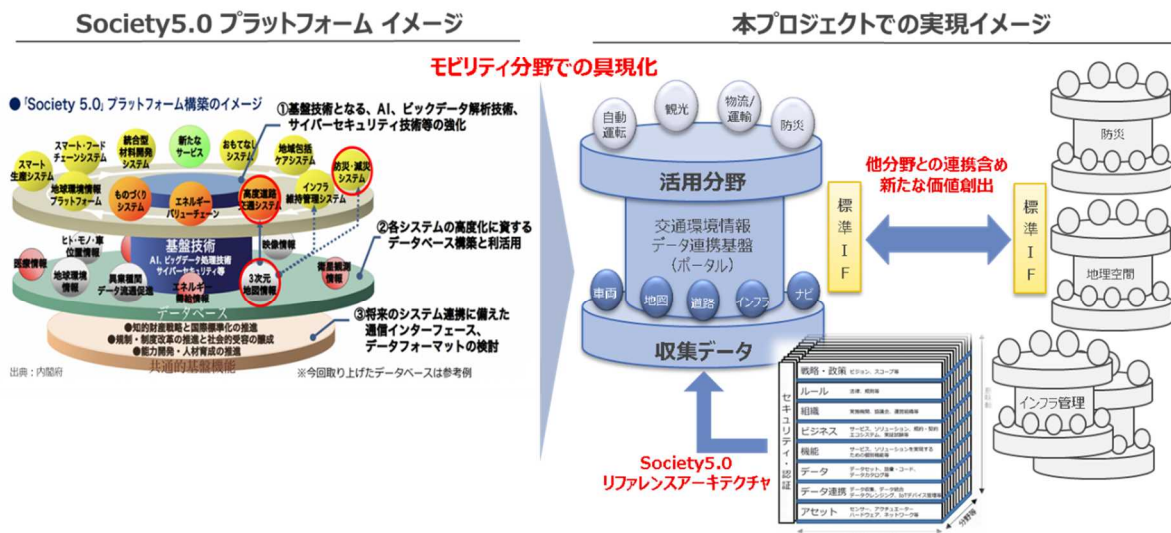


(1) 地理系データに係るアーキテクチャの構築の目的

- 「Society5.0」構想の実現に向け、モビリティ分野を中心とした集約可能なデータについて、サービス開発する上でポイントとなる、データ発見・検索・提供API等により連携を促すための仕組みを構築
- 他分野との連携を含め、社会課題の解決や新たなサービスの創出を可能とし、継続的に運用可能な社会システムとして実現することが目的



(2) 「自動運転・運転支援に係るアーキテクチャの設計及び構築のための調査研究」概要

- 本プロジェクトは、ポータルの社会システムとしての実現に向けて、複数地域でのアプリケーションによる実証実験と並行しポータルを構築・評価
- ポータルの開発および実証実験と並行し、ポータルの普及活動を実施していく



(以上)